ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号（NO.）などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　　月　　日	製造番号（NO.）
販売店（TEL）	

お客様相談センター【ご利用時間 9：00～18：00】※全日対応（土・日・祝日対応）

●フリーダイヤル
0120-20-8822 ※携帯電話、IP電話からもご利用いただけます。

全国営業拠点

■支店の移転等により連絡がとれない場合は、下記のアドレスから最新の電話番号をご確認いただけます。

https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html

●北海道支店	TEL (011) 786－5122	●北 陸 支 店	TEL (076) 263－4311
●東 北 支 店	TEL (022) 288－8676	●関 西 支 店	TEL (06) 7167－3644
●東 京 支 店	TEL (03) 5753－7703	●中 国 支 店	TEL (082) 504－8282
●関 東 支 店	TEL (03) 6374－5687	●四 国 支 店	TEL (087) 863－6761
●中 部 支 店	TEL (052) 533－0231	●九 州 支 店	TEL (092) 621－5772

工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南2丁目15番1号（品川インターシティA棟）
営業本部　TEL (03) 5783-0626（代）
電動工具ホームページ――https://www.hikoki-powertools.jp

部品コード　C99257202　309 G

HiKOKI

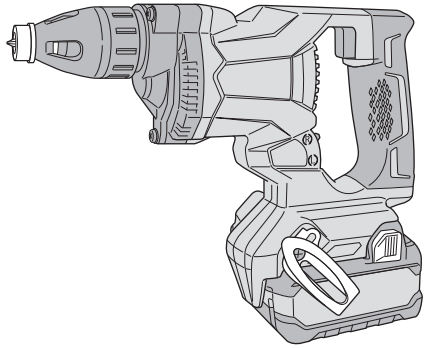
取扱説明書

用途
●ドライウォールねじの締付け・取りはずし

コードレスボード用ドライバ

36 V　W 36DYA

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。
This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに
コードレス工具の安全上のご注意… 1
本製品の使用上のご注意…… 5
リチウムイオン電池の使用上のご注意… 7
各部の名称…… 8
仕様…… 8
標準付属品…… 9

使い方
ご使用前の確認…… 10
蓄電池の取付け・取りはずし…… 10
フックの使い方…… 11
ビットの取りはずし・取付け…… 12
スイッチについて…… 13
正逆転切り替えについて…… 13
1充電当たりの作業量…… 14
連続作業について…… 14
締付け深さの調整…… 14
保護機能について…… 15
ねじを締める / ゆるめる…… 16

その他
保守・点検…… 17
ご修理のときは……裏表紙

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

⚠警告 ：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 ：製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、⚠注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
- コードレス工具は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。

③ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

④ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。

⚠警告

⑤ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。**
- 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
- 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

コードレス工具が作動して、けがの原因になります。

⑥ **不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。

⑦ **指定の付属品や別売部品を使用してください。**
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品や別売部品を使用してください。事故やけがの原因になります。

⚠注意

① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② **子供を近づけないでください。**
- 作業者以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。

③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
- 乾燥した場所で、子供の手が届かない所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
- コードレス工具を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所(金属の箱や夏の車内など)に保管しないでください。
劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

④ **無理して使用しないでください。**
- 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
- モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。

⚠注意

⑤ 作業に合ったコードレス工具を使用してください。
- 大形のコードレス工具で行う作業には、小形のコードレス工具・別売部品を使用しないでください。けがの原因になります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

⑥ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。

⑦ 無理な姿勢で作業をしないでください。
常に足元を安定させて、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。

⑧ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
- 付属品や先端工具の取付け・取りはずしは、取扱説明書に従ってください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⑨ 調整キーやスパナなどは、スイッチを入れる前に取りはずしてください。
調整キーやスパナなどの工具類が、取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⑩ 油断しないで十分注意して作業をしてください。
- コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑪ 十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。
特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。

⑫ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用しないでください。
アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。

⚠注意

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。
- サービスマン以外の人は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
- コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用したコードレス工具の保守・点検・修理は受付けできません。

○騒音防止規制について
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスボード用ドライバについて、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

① **作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に確かめてください。**
埋設物に締め込まれたねじが触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあります。

② **使用中は、振り回されないよう機体をしっかりと保持してください。**

③ **使用中は、ビットなどの回転部に手や顔などを近づけないでください。**

④ **使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**

⑤ **誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、機体やビットなどに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。**

⑥ **工具本体の端子部 (蓄電池取付部) に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。**
- 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
- 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
- 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。

短絡 (ｼｮｰﾄ) して、発煙・発火などの恐れがあります。

⑦ **工具本体の端子部 (蓄電池取付部) に変形が生じた場合は、使用しないでください。**
短絡 (ｼｮｰﾄ) して、発煙・発火の恐れがあります。

⚠注意

① **付属品や別売部品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。**

② **ねじ締め・ゆるめ直後のねじやビットは、高温になっているので触れないでください。**

③ **高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。**
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。

④ **精密部品を内蔵しているので、機体で材料をたたく、落下等の強い衝撃を加える、水にぬらすなどしないでください。**
誤作動等をおこす原因になります。

⑤ **スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。**

⑥ **蓄電池は確実に取付けてください。**

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記 ①、②、③ の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。

② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。

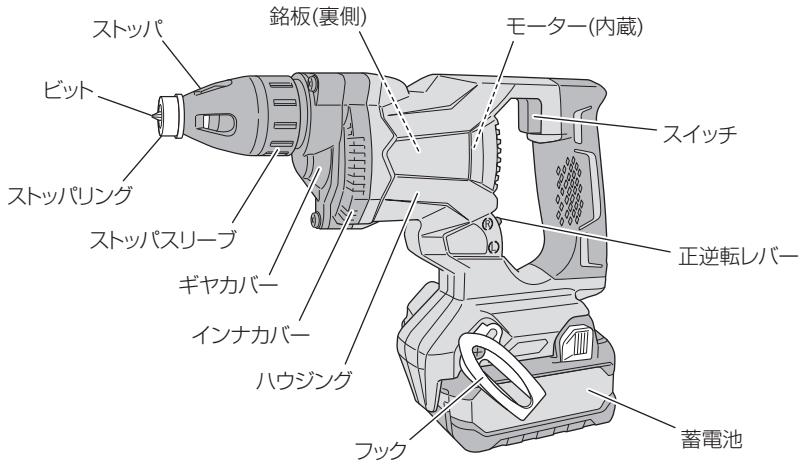
③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、蓄電池の取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を守ってください。

○ **蓄電池は、弊社純正品をご使用ください**
弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証ができません。

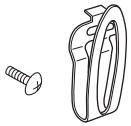
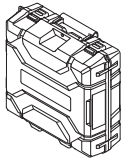
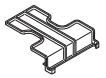
各部の名称



仕　様

形　　名	W 36DYA
能　　力 (ドライウォールねじ)	4 mm
無負荷回転数 [気温20℃満充電時]	6,500 min^{-1} {回 / 分}
モ　ー　タ　ー	直流ブラシレスモーター
工具本体寸法 全長×全幅×全高	254 × 79 × 204 mm [BSL 36A18X装着時]
プラスビット長さ	45 mm
質　　量	1.6 kg [BSL 36A18X装着時]
電　池　電　圧	36 V
使用可能蓄電池	マルチボルトタイプ蓄電池

標準付属品

品　名 ＼ 仕　様	XPZ	NN
No. 2プラスビット (ハードタイプ) 	1 本 (本体装着)	1 本 (本体装着)
フック 	1 個	1 個
蓄電池 ●取扱い方法は、蓄電池の取扱説明書を確認してください。	1 個	–
充電器 ●取扱い方法は、充電器の取扱説明書を確認してください。	1 台	–
収納ケース 	1 個	–
電池カバー 	1 個	–

ご使用前の確認

●締付けねじの確認

締付けねじがドライウォールねじであることを確認してください。

●ビットの確認

この機体には標準付属品として、No. 2 プラスビット (ハードタイプ) が組み込まれております。

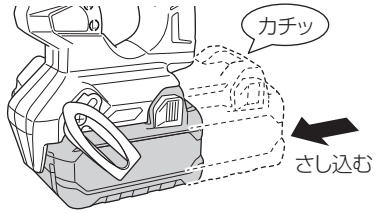
ビットの損傷により交換する場合は、P.12 の「ビットの取りはずし･取付け」を参照し、ビットを交換してください。

注 **ねじに合ったビットを使用してください。**
ねじに合ったビットを使用しないと、ねじ頭部の十字溝とビットを傷める原因になります。

蓄電池の取付け・取りはずし

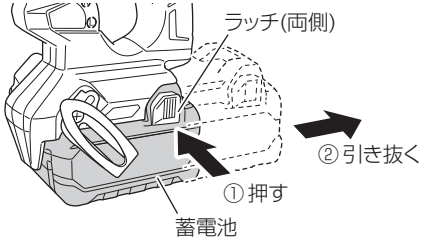
取付けるとき

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



取りはずすとき

両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



フックの使い方

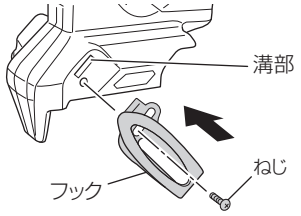
フックは、作業の合間に腰ベルトなどにつり下げることができます。
また、左右に付け替えて使用することができます。

⚠注意

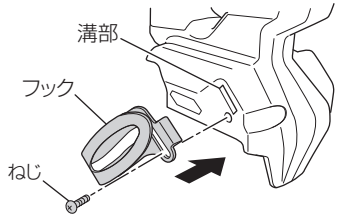
- **フックを使用するときは、機体が落下しないように、しっかりと掛けてください。**
- **フックはしっかりと取付けてください。**

1 フックを取付ける

フックの先を溝部にはめ込み、プラスドライバを使用してしっかり締付けてください。



2 反対側に取付ける場合



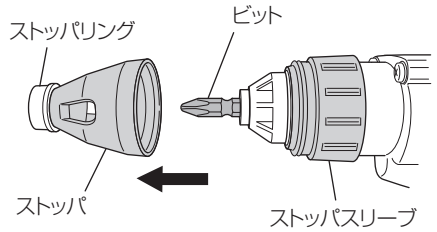
ビットの取りはずし・取付け

注 **新品と交換の際は、弊社純正プラスビットを使用してください。**
弊社純正プラスビットを使用しないとビットの先端が振れやすくなり、ドライウォールねじがビットからはずれやすくなります。

ビットの取りはずし

ストッパスリーブを手でしっかりと押さえ、ストッパを矢印方向に引き、ストッパスリーブから取りはずします。

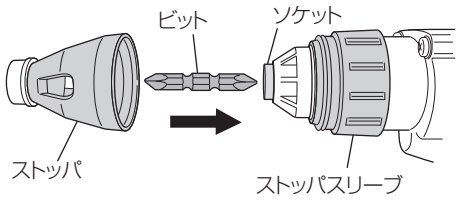
ビットの先をペンチなどで引き抜いてください。



ビットの取付け

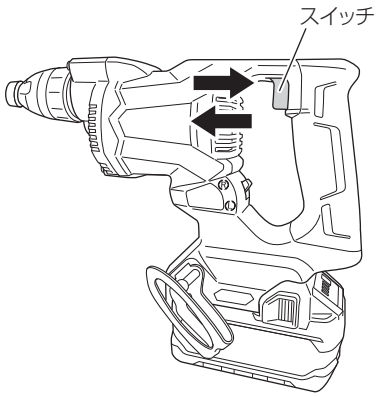
ビットをソケットの穴に合わせてしっかりと押し込みます。

ビットを取付けましたら、ストッパスリーブを手でしっかりと押さえ、ストッパをストッパスリーブに取付けます。



スイッチについて

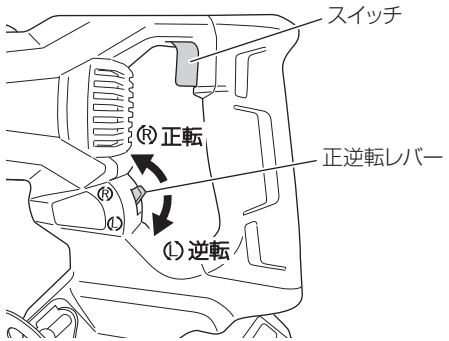
スイッチは引くと入り、はなすと切れます。スイッチを引き、指をはなしたときスイッチが戻ることを確認してください。



正逆転切り替えについて

正逆転レバーをⓇ側に倒すとビットはハンドル側から見て右に回り(正転)、Ⓛ側に倒すと左に回ります(逆転)。

注 **回転方向を変えるときは、スイッチを切ってモーターの回転が止まってから、正逆転レバーを操作してください。**
スイッチを切らずに正逆転レバーを切り替えると、停止します。
一度スイッチを切り、再び入れると起動します。



正逆転レバーが正転Ⓡの場合

スイッチを引くとモーターが回りますが、ビットは回転しません。

ビットの先端をねじ頭部の溝に当て、押し付けると、ビットが回転してねじを締めます。

正逆転レバーが逆転Ⓛの場合

スイッチを引くだけで、ビットの先端をねじ頭部の溝に当て押し付けなくても、ビットが回転します。

1 充電当たりの作業量

作業量は、ボードの状態、使用環境、蓄電池の状態などにより異なります。

[蓄電池 BSL 36A18X 使用時]

作業内容		作　業　量
石こうボード : 12 mm 鋼製下地　　: 0.5 mm	ドライウォールねじ : 4 mm	約 2,000 本

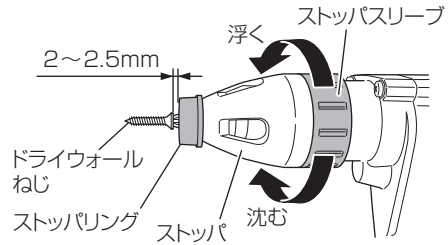
連続作業について

連続的に作業する際は、蓄電池の交換時に工具本体を 15 分程度休ませてからご使用ください。蓄電池の交換後すぐに作業を続けますとモーターなどの温度が高くなり、故障の原因になります。

締付け深さの調整

(1) ビットにドライウォールねじの十字穴を正しく入れ、ストッパスリーブを回して、ストッパリングとねじ頭との距離が 2 ～ 2.5 mm になるように、調整します。

(2) 数本試し締めし、ちょうど良い距離に微調整してください。



注 **ストッパの先端に装着してあるストッパリングは、石こうボードにドライウォールねじを締付けする際に使用してください。石こうボード表面の損傷防止に効果があります。**

保護機能について

⚠警告

原因がはっきりせず、たびたび保護機能が作動するときは、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

注 **保護機能の作動を繰り返すと、機体が故障する原因になります。**

機体を保護するため、問題が発生したときは、保護機能が働いて自動停止します。
各状態は以下のようになっています。

保護機能	内容と対応
逆転連続防止	逆転で 20 秒以上連続して運転したとき、機体の故障を防ぐため停止します。 一度スイッチを切ると復帰します。
過負荷	大きな負荷がかかったとき、機体の故障を防ぐため停止します。 過負荷となる作業を止めて、一度スイッチを切ると復帰します。
温度上昇	内部の温度が規定温度を超えたとき、高温による故障を防ぐため停止します。 大電流が連続で流れる作業や、高温環境で急激な連続作業をすると、内部の温度が高くなります。 10 ～ 15 分ほど機体を休めてから使用してくだい。

ねじを締める / ゆるめる

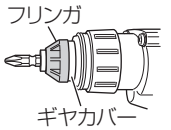
ドライウォールねじの締付け、ゆるめ

⚠警告

- **使用中は軍手など巻き込まれる恐れのある手袋を使用しないでください。**
  ねじやビットなどに巻き込まれ、けがの原因になります。
- **スイッチが入っている状態で、ねじをビットに合わせるとき、ビットを機体方向に押し込まないでください。**
  ビットが回転し、けがの原因になります。

⚠注意

- **ドライウォールねじ以外のテクスねじ・木ねじは使用しないでください。**
  ねじやビットが高温になり、やけどや機体故障の原因になります。
- **フリンガをはずして使用しないでください。**
  ギヤカバー内に粉じんが入り込み、機体の故障の原因になります。



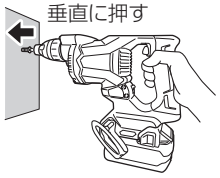
ねじを締める

1 回転方向を正転Ⓡに合わせる

(P.13「正逆転切り替えについて」参照)

2 ねじを締める

- ねじの十字穴に正しくビットをはめ、取付面にねじの先端を当てて、垂直に押し付けながらスイッチを引きます。
  または、スイッチを引きながら、垂直に押し付けます。



- 締め終わりましたら、押し付け力をゆるめるとビットの回転が止まります。
  (P.13「正逆転切り替えについて」参照)

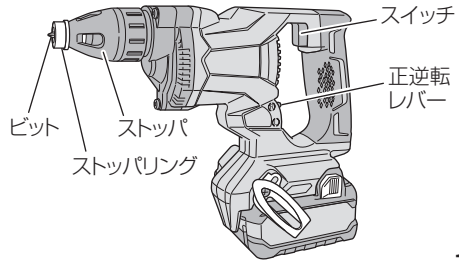
ねじをゆるめる

注 P.15「保護機能について」の "逆転連続防止" を参照してください。

1 回転方向を逆転Ⓛに合わせる

2 ねじをゆるめる

- ねじの十字穴に正しくビットをはめて、スイッチを引きます。
- ビットがねじの十字穴に入りにくいときは、ストッパをはずして作業をしてください。



保守・点検

●ビットの点検

先端部が摩耗したり折損したビットを、そのまま使用すると、ねじ頭を傷めますので新品と交換してください。

●モーターの取扱いについて

モーター (内蔵)(P.8「各部の名称」参照) に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 **ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させてください。**
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

●端子部の点検

工具本体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。
作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が 50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- **お子様の手が届く場所、持ち出せる場所**
- **軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所**
- **温度が急変する場所、直射日光が当たる場所**
- **引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所**

メ　モ